

広報文芸

自由律俳句

おおくさの会編集室選

つるべ落しの秋の陽にせかされて畑を終える 茶屋 長谷川由美子

歳重ね月日の過ぎゆく速さ思う 神戸上 柴田 篤子

蛇口が新しくなっただけの幸せな年越 生山 渡辺 圭子

草の実もひとりは淋し私に付いてくる 茶屋 小林 道子

注連飾り華やかにフクラシバの赤い実 茶屋 藤原 寿郎

冬来たり枯葉かさかさ寒さ告げ 宝谷 長尾 智恵

俳句

駄句駄句会編集室

初夢やみなつつがなしパレスチナ 萩原 岡本 健三

たつぷりのおでんの芥子よくききて 宮内 木村萬佐子

初雪を街の子につぐ独りの夜 宮内 田邊登志美

花なき季古木のあいだの青木の実 宮内 船越 裕子

悲喜諸もろ遠き日たぐる年の暮 矢戸 和田 淑子

侘び宿に門松ありて初音きく 菅沢 秦 節

あかね郷もみじの山につつまれて 神戸上 笹間 玲子

凍る朝そだけ明く理髪店 下石見 矢田貝 元

短歌

老猫がストーブの前丸くなり 沈思する様生きた置物

年明けて己歳の正月もちを食べ 家族揃って挑戦の年

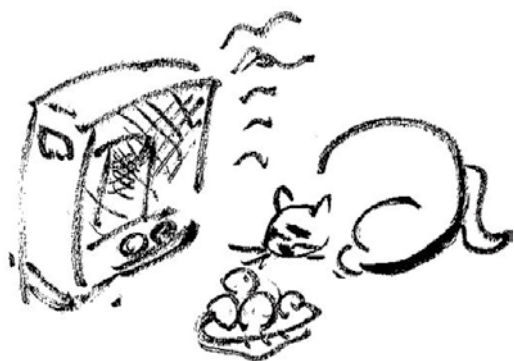
霧の中五十米旗見えず グランドゴルフプレーに夢中

厳冬に歩道もすべて雪化粧 一步踏み出すノルディックウォーク

朝明けに皆が集いしとんどさん 願いは同じ無病息災

あちこちが痛いと言えばにげもなく お齡ですねと医者はずうけど

広報にちなんでは、みなさんから投稿のあった俳句・短歌・川柳をご紹介します。



「手話教室のお知らせ」

手の動きや顔の表情で意思を伝える手話。鳥取県では手話言語条例制定後、手話を見かける機会が増えています。日南町手話サークルでは、1ヶ月に2回のペースで基本的な手話の学習会を開催しています。手話に興味をお持ちの方は、一緒に手話を学んでみませんか。

2月の日程

2月～3月はお休みします。

「午(うま)」



両手の人差し指を伸ばして手綱を握るような感じで2回振りおこす
[群馬]も同じ表現



両手の指をそろえて両側のこめかみあたりに手根部をあてて馬の耳が動くように前後に振る



右手にグーにして頬の横に持っていき、親指側で頬を丸く撫でる仕草をする(猫が顔を洗う感じ)

※「手話表現には、色々な表現方法があります。」

